

32 米穀年度別需給見通し

平成15・16米穀年度の需給見通し

(単位：万トン)

		全体需給	計 画 流 通 米		
			自主流通米	政府米	合 計
14年10月末持越在庫量		A 211	46	165 (うち外国産米10)	211
平成 15 米 穀 年 度	平成14年産米生産量	B 889			
	うち計画出荷量		418	15	433
	外国産米	C 77		77	77
	供給量計	D 1,177	464	257	721
	(D=A+B+C)				
	主食用等需要量	E 873	397~402	15~20	417
	加工用等需要量	F 98	21	77	98
需要量計	(G=E+F) G 971	418~423	92~97	515	
15年産10月末持越在庫量		H 206	41~46	160~165 (うち外国産米10)	206
(H=D-G)					
平成 16 米 穀 年 度	平成15年産米生産量	I 879			
	うち計画出荷量		442~447	10~15	457
	外国産米	J 77		77	77
	供給量計	K 1,162	488	252	740
	(K=H+I+J)				
	主食用等需要量	L 860	418~428	10~20	438
	加工用等需要量	M 101	24	77	101
需要量計	(N=L+M) N 961	442~452	87~97	539	
16年10月末持越在庫量		O 201	36~46	155~165 (うち外国産米10)	201
(O=K-N)					

- 注1) 生産量(陸稲を含む)及び自主流通米の出荷量は、加工用米の生産予定数量(平成14年産21万トン、平成15年産24万トンを含む数量)である。
- 2) 主食用等需要量は、主食用のほか、自主流通米で供給されている酒造用及びもち米の需要量である。
- 3) 平成15年産米の政府買入数量10~15万トンは、平成15米穀年度の政府米販売が15~20万トンとなることを前提とするものであり、実際の販売が計画未達となった場合の実際の買入数量は、10万トンから販売計画未達数量を控除した数量とする。
- 4) 外国産米の平成14年10月末持越在庫量10万トンのほか、次のものがある。

飼 料 用 備 蓄	25万トン
援 助 用 備 蓄	60万トン
合 計	85万トン

- 5) 加工用等需要量は、加工用、輸入米粉調整品等代替、新規用途及び国際機関、食糧不足国等からの要請に応じ用いられる援助用等である。
- 6) 平成16米穀年度の外国産米の数量は、現行のWTO農業協定に基づき実施期間の最終年度のミニマム・アクセス数量としている。

32 米穀年度別需給見通し